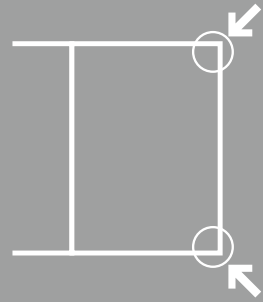
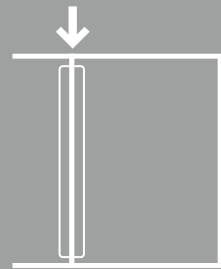


四隅 クリックでページ移動(全8ページ)



中央 クリックで全画面表示(再クリックで標準モードに復帰)



* OS・ブラウザのバージョン等により機能が制限される場合があります。

いきなり名医!

jmed
[ジェイメド]

11

日常診療で 診る・見守る認知症

かかりつけ医が知っておきたいこと

岩手医科大学神経内科・老年科准教授

高橋 智 [編]



Japan Medical Journal
日本医事新報社

6 アルツハイマー病の臨床経過は？

結論から先に

- アルツハイマー病の中核症状は、神経病理学的変化の進展に伴って、進行する。近時記憶障害や失語・失行という症状は、神経原線維変化や神経細胞死の進展と強い相関がみられる。
- アルツハイマー病での進行には一定のパターンがあり、軽度では近時記憶障害や時間の見当識障害が、中等度になると失行や失認がみられ、高度になると生活に必要な基本動作ができなくなり、全面介助が必要となる。

SCENE1 アルツハイマー病ってどういうふうに行進していくんですか？

Aさん (78歳の夫Bさんがアルツハイマー病) 夫が認知症と診断されて、もう3年が経つんですが、確かに少しずつできないことが最近増えてきたように思います。これからどうなっていくか、とても心配なのですが……。

Dr. (Aさんのかかりつけ医) アルツハイマー病の患者さんの症状や日常生活の様子がどのように変化していくか、悪化していくかということに関しては、FASTという進行の段階をスケール化したものがあり、これを参考にするといいと思います(図1)。

Aさん それはどんなものなんですか。

Dr. はい。アルツハイマー病は発症すると、発症年齢にもよりますが、大体一定のパターンで、症状が進行していくことが知られています。

Aさん その症状を具体的に説明して下さい。

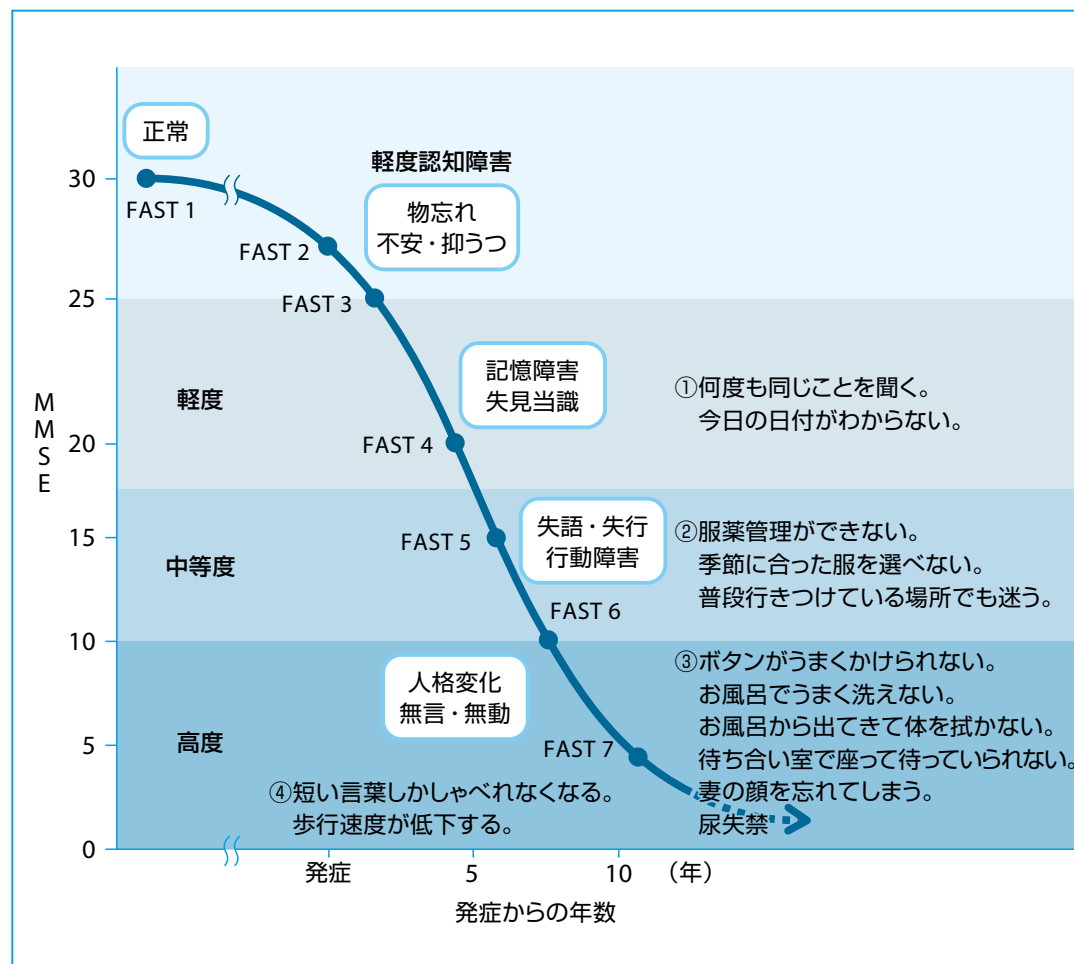
Dr. 「認知症の診断基準」については以前説明しましたよね。「記憶障害が存在すること」、「失語、失行、失認、実行機能障害のいずれかがある」、「その認知機能障害のために社会生活や仕事に支障が出る」という3つの条件がそろわなければならないのですが、最初から全部そろわなければならないわけではありません。

Aさん そうですね。主人も最初のうちは「財布がない」とか「通帳がない」と言って、探し物ばかりしていました。

Dr. まず、アルツハイマー病と診断される前の状態として、軽度認知障害という状態があるのですが、これはあとで詳しく説明します。この軽度認知障害の段階では、まだ認知症とは言えませんが、Bさんのように物の置き場所を忘れるなどの症状が出現しはじめます。続いて、その程度がひどくなって、慣れている仕事で失敗したり、スムーズにこなせないなどの症状がみられるようになります。

Aさん そうでした。それまで日曜大工で簡単な棚などをつくっていたのに、物忘れが出てからしばらくして、失敗したのをきっかけにまったくつくらなくなってしまいました。

図1 アルツハイマー病の経過を追った症状の変化



アルツハイマー病の進行段階

- アルツハイマー病の経過(図1)は、FAST(Functional Assessment Staging of Alzheimer's Disease)という進行の段階のスケールでわかりやすく記載されています。正常(FAST 1)、年齢相応(FAST 2)から境界状態(FAST 3)、軽度、中等度、やや高度、非常に高度のアルツハイマー病と分類されています。
- 軽度の段階(FAST 4)では、慣れているはずの仕事や食事の支度に失敗したり、金銭管理がうまくできなくなったりしますが、トイレや入浴など基本的な生活の動作は問題なくできます(実行機能障害)。
- 中等度(FAST 5)では、簡単な生活動作(洋服を着る、入浴するなど)に支障が出てきます。この段階では、洋服を用意してあげる、入浴時にちゃんと洗えたか、声をかけてあげる、出てきたあとできちんと拭けたかどうか確認してあげるなど、簡単なサポートが必要になってきます。
- 高度(FAST 6)になると、洋服を着る、入浴する、トイレできちんと用をたすといった基本的な生活動作ができなくなります。たとえば、入浴時には一緒に入って体を洗ってあげる必要があり、トイレでは用を済ませたら拭いてあげる、水を流してあげるなどの全面的な介助が必要になります。
- 最も高度な段階(FAST 7)では、言葉の理解も困難となって、コミュニケーションも取れなくなってきますし、歩行や席に座ることもできなくなってしまいます。
- 各ステージの期間は、進行すると短くなっていきますが、軽度の段階(FAST 4)では、約2年間で、FAST 5以上ではさらに短くなっていきます。ただ、寝たきりになってしまってから死亡するまでの期間は、栄養管理や合併症管理で大きく異なってきます。
- 実際の認知症患者さんの進行度を客観的に評価するためには、MMSEや改訂長谷川式簡易知能評価スケール(※Q14)などのスコアの点数よりも、FASTのような、介護する家族からの情報に基づいて評価する行動観察尺度が有用です。

SCENE2 アルツハイマー病の進み方はみんな同じなんですか？

Aさん 以前から、徐々に進行していくってことは漠然とわかっていたんですが、お話を伺って、今後のことを少し具体的に考えることができるような気がしてきました。ところで、アルツハイマー病の進み方は、先ほどのお話のように、みんな同じような症状が同じスピードで出現してくるのですか。

Dr. 必ずしもそうとは限りません。たとえば、認知症患者さんの教育程度によって症状の進み方が違うことはよく知られています。

Aさん 高学歴の人は進行が遅いのですか。

Dr. いいえ、逆なんです。これは、Cognitive Reserveと言われており、高学歴の人は、アルツハイマー病の病因があってもなかなか発症しない代わりに、いったん発症すると症状の進行は早いと言われています。また、若年発症のアルツハイマー病と70代、80代発症のアルツハイマー病患者さんでは、進行のスピードも症状も少し違うと言われています。

Aさん どう違うんですか。

Dr. 若年発症の患者さんは、失語などの局所症状が早い段階からみられることがあるのに対して、70~80歳で発症した患者さんは、アルツハイマー病としては典型的なのですが、直近の記憶障害で発症すると言われています。もちろん、ドネペジル(アリセプト®)などのお薬の投与によって改善したり、体調の不良で悪化したりするわけで、進行のスピードは変わってくると思いますが、症状の出現する順番などが大きく変わることはないと思います。逆に、経過がFASTと大きく異なる場合は、アルツハイマー病と似た別の疾患の可能性を考えていく必要があります。

山崎峰雄